



コマツナ的主要病害虫防除対策について

コマツナは作型や圃場条件などによって、病害虫の発生や被害が大きく異なります。コマツナは登録農薬が少ないため、薬剤防除のみに頼らない**総合防除**を実施しましょう。

主要病害虫

<病害>

- ① 白さび病、べと病(晩秋の低温多湿の時に発生)
- ② 炭疽病、黒斑細菌病、白斑病(秋の長雨期に発生)
- ③ 土壌病害:立枯病(リゾクトニア病)、萎黄病

<害虫>

- ① キスジノミハムシ、アザミウマ類(夏季を中心に長期に被害が発生)
- ② アブラムシ類、ハモグリバエ類
- ③ チョウ目害虫:アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ

防除対策のポイント

- ・多湿条件にならないよう圃場排水の改善や高畦栽培を行い、過度の灌水を避ける
- ・ハウスやトンネル内を換気等により適度な湿度に保つ

- ・連作圃場や土壌病害が発生したハウスでは、除塩を兼ねて夏季の還元型太陽熱土壌消毒などを実施する

- ・モザイク病を媒介するアブラムシやその他害虫対策として、ハウスやトンネルの開口部に**防虫ネット**を展張し侵入を防ぐ

- ・害虫の飛来源、ウイルスの保毒源となる圃場内外の**除草を徹底**するなど、圃場衛生に努める

- ・播種前や播種時に**粒剤**等を適切に処理し、被害が発生したら発生株の早期除去や薬剤防除を実施する

表 1 コマツナ各種病害に対する主な防除薬剤

(令和 7 年 8 月 22 日現在)

対 象 病 害					薬 剤 名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
立枯病 (リゾクトニア病)	白さび病	白斑病	炭疽病	べと病、軟腐病、 黒斑細菌病				
●					フロンサイド粉剤	30kg/10a 全面土壌混和	播種前/1 回	29
	●				ユニフォーム粒剤	9kg/10a 全面土壌混和	播種前/1 回	4 と 11
				●	ズボルドー	500 倍 (軟腐病 500~1,000 倍)	— / —	M01
			●		スクレアフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで/3 回以内	11
	●				ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで/3 回以内	21
	●	●			アミスター20 フロアブル	2,000 倍	収穫 7 日前まで/2 回以内	11

注) 分類欄には、FRAC コードを記載しました (コードが 2 つは混合剤)。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表 2 コマツナ各種害虫に対する主な防除薬剤

(令和 7 年 8 月 22 日現在)

対 象 害 虫						薬 剤 名	使用量または希釈倍率	使用時期/使用回数	分類
アブラムシ類	アオムシ	コナガ	ハモグリバエ類	アザミウマ類	キスジノミハムシ				
					●	フォース粒剤	4kg/10a 全面土壌混和	播種前/1 回	3A
●						ダントツ粒剤	6kg/10a 播溝処理土壌混和	播種時/1 回	4A
●						ジェイエース粒剤	3~6kg/10a 作業散布後土壌混和	播種前/1 回	1B
		●			●	アクセルフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで/3 回以内	22B
		●	●		●	アニキ乳剤	1,000~2,000 倍	収穫前日まで/3 回以内	6
●						ウララDF	4,000 倍	収穫前日まで/2 回以内	29
	●	●				エコマスターBT	1,000~2,000 倍	発生初期(収穫前日)まで/—	11A
	●	●		●		ディアナSC	2,500~5,000 倍	収穫前日まで/2 回以内	5
	●	●			●	プロフレアSC	2,000~4,000 倍	収穫前日まで/3 回以内	30
	●	●				コテツフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで/1 回	13
	●	●				マッチ乳剤	2,000 倍	収穫 3 日前まで/3 回以内	15
●					●	モスピラン顆粒水溶剤	4,000 倍	収穫 7 日前まで/1 回	4A

注) 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類 (コード) は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。